様式第２号の１－②【⑴実務経験のある教員等による授業科目の配置】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第２号の１－①を用いること。

学校名	専門学校　日産京都自動車大学校
設置者名	学校法人　日産学園

１．「実務経験のある教員等による授業科目」の数

課程名	学科名	夜間・通信制の場合	実務経験のある教員等による授業科目の単位数又は授業時数	省令で定める基準単位数又は授業時数	配置困難
工業専門課程	自動車整備科	夜・通信	1,906 時間	160 時間	
	自動車整備・ボディリペア科	夜・通信	2,883 時間	240 時間	
	自動車整備・カスタマイズ科	夜・通信	3,935 時間	320 時間	
	一級自動車工学科	夜・通信	4,080 時間	320 時間	
(備考)					

２．「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表の公表方法

ホームページにて公開 https://wp.nissan-gakuen.ac.jp/kyoto/wp-content/uploads/2021/06/488835692637d856cc174adbc64603af.pdf

３．要件を満たすことが困難である学科

学科名
(困難である理由)

様式第２号の２－①【⑵-①学外者である理事の複数配置】

※　国立大学法人・独立行政法人国立高等専門学校機構・公立大学法人・学校法人・準学校法人は、この様式を用いること。これら以外の設置者は、様式第２号の２－②を用いること。

学校名	専門学校　日産京都自動車大学校
設置者名	学校法人　日産学園

１．理事(役員)名簿の公表方法

ホームページにて公開 https://wp.nissan-gakuen.ac.jp/kyoto/wp-content/uploads/2019/10/2cca7caaa011fb0a3ad12747370ede21.pdf

２．学外者である理事の一覧表

常勤・非常勤の別	前職又は現職	任期	担当する職務内容や期待する役割
非常勤	株式会社役員	令和１年９月30日～令和３年９月29日	組織運営の統括
非常勤	株式会社役員	令和３年５月27日～令和３年９月29日	組織運営体制へのチェック機能
非常勤	株式会社役員	令和１年９月30日～令和３年９月29日	組織運営体制へのチェック機能
(備考)			

様式第２号の３【⑶厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】

学校名	専門学校　日産京都自動車大学校
設置者名	学校法人　日産学園

○厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表の概要

１．授業科目について、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載した授業計画(シラバス)を作成し、公表していること。

(授業計画書の作成・公表に係る取組の概要)

授業計画作成ガイドライン(※1)に基づき、専門科目全てのシラバスを作成し、年度初め迄に学校ホームページ及び学生端末(※2)に掲載し、学生及び外部に公開している。

※1　https://wp.nissan-gakuen.ac.jp/kyoto/wp-content/uploads/2021/06/b96835d59f3a18e11ebd7a9b6065edf5.pdf
※2　学生所有のスマートフォン等のアプリ「Handbook」

授業計画書の公表方法	ホームページにて公開 https://www.nissan-gakuen.ac.jp/kyoto/curriculum.html

２．学修意欲の把握、試験やレポート、卒業論文などの適切な方法により、学修成果を厳格かつ適正に評価して単位を与え、又は、履修を認定していること。

(授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要)

規定出席率を充足したうえで、試験(筆記・実習)に合格することで履修を認定する。成績については、試験の点数により優・良・可の３段階で判定する。

〈自動車整備科〉
〈自動車整備・ボディリペア科〉
〈自動車整備・カスタマイズ科１・２年次〉

学習評価は教科ごとに試験を行い、合格すればその教科を履修したと認める。
合否の判定は下記「判定基準」により行う。

〈期末試験〉
・教科の学習効果を判断するために、教科毎に行う。
実習については授業内容の進捗により、教科の途中で試験の一部を実施することがある。

〈判定基準〉
１）学科、実習共に期末試験得点を成績得点とします。
２）学科、実習共に成績得点が 60 点以上を合格とします。ただし、資格取得のための特定の教科においては、80 点以上を合格とします。
３）成績得点を基に評定(優・良・可)、成績順位が決められます。優：80 点以上、良：60 点以上、可：60 点未満とします。
４）評定及び成績順位は、期末試験に合格し、教科規定の出席率を満たした場合に決められます。

〈一級自動車工学科〉
　学習評価は教科ごとに下記試験を行い、合格しなければその教科を履修したと認められません。
合否の判定は下記「判定基準」により行います。

〈期末試験〉
・教科の学習効果を判断するために、教科毎に行う。
　実習については授業内容の進捗により、教科の途中で試験の一部を実施することがある。

〈判定基準〉
１）学科、実習共に期末試験得点を成績得点とします。
２）学科、実習共に成績得点が 70 点以上を合格とします。ただし、資格取得のための特定の教科においては、80 点以上を合格とします。
３）成績得点を基に評定(優・良・可)、成績順位が決められます。優：80 点以上、良：70 点以上、可：70 点未満とします。
４）評定及び成績順位は、期末試験に合格し、教科規定の出席率を満たした場合に決められます。

〈自動車整備・カスタマイズ科４年次〉
　学習評価は教科ごとにレポートの提出や課題の出来栄えによって判定します。

〈成績得点〉
　教科毎に、レポートや課題の内容により 100 点満点で評定します。

３．成績評価において、ＧＰＡ等の客観的な指標を設定し、公表するとともに、成績の分布状況の把握をはじめ、適切に実施していること。

(客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施に係る取組の概要)
　各科目の期末試験の結果を合計し、その平均点で成績順位を付け分布を把握し学生の指導に役立てる。

〈自動車整備科〉
　半期ごとの期末試験の平均点を 100 点換算で順位付けし、得点分布をみる

〈自動車整備・ボディリペア科〉
〈自動車整備・カスタマイズ科〉
〈一級自動車工学科〉
　前期および後期の期末試験の平均点を 100 点換算で順位付けし、得点分布をみる

客観的な指標の算出方法の公表方法	ホームページにて公開 https://wp.nissan-gakuen.ac.jp/kyoto/wp-content/uploads/2021/06/f78b8bdee986641d962da265d3c96a4d.pdf

４．卒業の認定に関する方針を定め、公表するとともに、適切に実施していること。

(卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要)
　卒業認定方針に基づき、全専門科目の履修を確認した上で、授業態度、出欠状況等を鑑み、卒業を認定している。(ディプロマポリシー)

〈自動車整備科〉

一種養成施設として国土交通省により定められた学科・実習の全教科を履修し、以下に記す知識と能力を培った者に文部科学大臣告示による専門士(工業専門課程)を授与する

１．資格

① 国家二級自動車整備士資格を取得できる知識と実践力を身に付け、整備士として基本的な自動車整備作業ができる

２．技術

① 日産３級整備士資格を取得できる知識と技術を有している

② 日産資格制度の日産３級技術能力要件項目に沿った内容の作業ができ、CS マインドを身に付け、一連のお客様応対スキルを身に付けている

３．人間力

① 自主性を基に学ぶ意欲、向上心を持ち、自ら課題に対し積極的に取り組む姿勢を身に付けている

② チームの一員として共同作業のベースとなるコミュニケーション力を有している

③ 社会・地域に貢献し、法令・倫理の規範を遵守することができる

〈自動車整備・ボディリペア科 1・２年次〉

〈自動車整備・カスタマイズ科 1・2 年次〉

〈一級自動車工学科 1・2 年次〉

一種養成施設として国土交通省により定められた学科・実習の全教科を履修し、以下に記す知識と能力を培った者に修了証書を授与する

１．資格

① 国家二級自動車整備士資格を取得できる知識と実践力を身に付け、整備士として基本的な自動車整備作業ができる

２．技術

① 日産３級整備士資格を取得できる知識と技術を有している

② 日産資格制度の日産３級技術能力要件項目に沿った内容の作業ができ、CS マインドを身に付け、一連のお客様応対スキルを身に付けている

３．人間力

① 自主性を基に学ぶ意欲、向上心を持ち、自ら課題に対し積極的に取り組む姿勢を身に付けている

② チームの一員として共同作業のベースとなるコミュニケーション力を有している

③ 社会・地域に貢献し、法令・倫理の規範を遵守することができる

〈自動車整備・ボディリペア科３年次〉

一種養成施設として国土交通省により定められた学科・実習の全教科を履修し、以下に記す知識と能力を培った者に卒業証書を授与する

１．資格

① 国家車体整備士資格を取得できる知識と実践力を身に付け、車体整備士として基本的な自動車板金塗装作業ができる

２．技術

① 日産サービス技術習得制度の日産３級車体士、塗装士資格を取得できる知識と技術を有している

② 日産サービス技術習得制度の日産１級、２級の車体士、塗装士の知識を備え、尚且つ、日産サービス技術習得制度の日産３級車体士、塗装士の技術能力要件項目に沿った内容の作業ができる。
３．人間力
① 主体性を基に学ぶ意欲、向上心を持ち、自ら課題に対し積極的に行動できる
② チームの一員としてコミュニケーションを取りながら、協調と協力して共同作業ができる
③ 社会・地域に貢献し、法令・倫理の規範を遵守することができる

〈自動車整備・カスタマイズ科３年次〉
一種養成施設として国土交通省により定められた学科・実習の全教科を履修し、以下に記す知識と能力を培った者に修了証書を授与する
１．資格
① 国家車体整備士資格を取得できる知識と実践力を身に付け、車体整備士として基本的な自動車板金塗装作業ができる
２．技術
① 日産サービス技術習得制度の日産３級車体士、塗装士資格を取得できる知識と技術を有している
② 日産サービス技術習得制度の日産１級、２級の車体士、塗装士の知識を備え、尚且つ、日産サービス技術習得制度の日産３級車体士、塗装士の技術能力要件項目に沿った内容の作業ができる。
３．人間力
① 主体性を基に学ぶ意欲、向上心を持ち、自ら課題に対し積極的に行動できる
② チームの一員としてコミュニケーションを取りながら、協調と協力して共同作業ができる
③ 社会・地域に貢献し、法令・倫理の規範を遵守することができる

〈自動車整備・カスタマイズ科４年次〉
カスタムカー製作のノウハウを習得し、その製作プロセスから主体性を基本とした積極性やリーダーシップを培った者に卒業証書を授与する
１．資格
① 国家２級金属塗装士資格を取得できる知識と実践力を身に付け、車体整備士として高度な知識と技術を有している
２．技術
① 豊かな創造力でカスタムカーをデザインすることができる
② 車体整備の知識と技術によって、カスタムカーのデザインから製作までを計画的に行うことができる
③ 対外的な交渉を行うためのプレゼンテーションと折衝のスキルを身につけている
３．人間力
① 主体性を基に自ら学ぶ意欲及び探究心を持って学習し、自ら目標を掲げて行動できる
② 組織の中で自分の役割を理解し、主体的に課題を解決する行動力をに身に付けている
③ 相手の気持ちや考えを理解するコミュニケーション力を持ち、チーム全体をリードしていく意思がある
④ 積極的に社会・地域に貢献し、法令・倫理の規範を遵守することができる

〈一級自動車工学科３･４年次〉

<table>
<tr><td colspan="2">一種養成施設として国土交通省により定められた学科・実習の全教科を履修し、以下に記す知識と能力を培った者に文部科学大臣告示による高度専門士(工業専門課程)を授与する
１．資格
① 国家一級自動車整備士資格を取得できる知識と実践力を身に付け、自動車エンジニアとして高度で総合的な知見を有している
２．技術
① 日産２級整備士資格の学科試験に合格できる知識を有している
② 日産資格制度の日産２級技術能力要件項目に沿った内容の作業ができ、 CS マインドを身に付け、一連のお客様応対スキルにより、お客様満足を優先する対応ができる
③ 企業経営に関する知識を身に付け、業務効率の重要性を理解している
３．人間力
① 主体性を基に自ら学ぶ意欲及び探究心を持って学習し、自ら目標を掲げて行動できる
② 組織の中で自分の役割を理解し、主体的に課題を解決する行動力をに身に付けている
③ 相手の気持ちや考えを理解するコミュニケーション力を持ち、チーム全体をリードしていく意思を有している
④ 積極的に社会・地域に貢献し、法令・倫理の規範を遵守することができる</td></tr>
<tr><td>卒業の認定に関する
方針の公表方法</td><td>ホームページにて公開
https://wp.nissan-gakuen.ac.jp/kyoto/wp-content/uploads/2021/06/2cabc61ea7ffeeac7040c34e3fefcef0.pdf</td></tr>
</table>

様式第２号の４－②【⑷財務・経営情報の公表(専門学校)】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第２号の４－①を用いること。

学校名	専門学校　日産京都自動車大学校
設置者名	学校法人　日産学園

１．財務諸表等

財務諸表等	公表方法
貸借対照表	https://wp.nissan-gakuen.ac.jp/kyoto/wp-content/uploads/2021/06/1f0ed2e006c5b0072023d3255098c19c.pdf
収支計算書又は損益計算書	https://wp.nissan-gakuen.ac.jp/kyoto/wp-content/uploads/2021/06/353d015de51741c7bdda546803e86dbb.pdf
財産目録	https://wp.nissan-gakuen.ac.jp/kyoto/wp-content/uploads/2021/06/c0ce3a474e0e98e04b63c10fc7d85d55.pdf
事業報告書	https://wp.nissan-gakuen.ac.jp/kyoto/wp-content/uploads/2021/06/f47cb7dc9c27c219599b1e158bedb8e2.pdf
監事による監査報告(書)	https://wp.nissan-gakuen.ac.jp/kyoto/wp-content/uploads/2021/06/2530059773538a63df2be6a2f037f03c.pdf

２．教育活動に係る情報

①学科等の情報

＜自動車整備科＞

分野		課程名	学科名		専門士		高度専門士
工業		工業専門課程	自動車整備科		○		
修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な総授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼	1,906 単位時間／単位	690 単位時間/単位	単位時間/単位	1,216 単位時間/単位	単位時間/単位	単位時間/単位
			1,906 単位時間／単位				

生徒総定員数	生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数
115 人	97 人	34 人	人	16 人	16 人

人数は 2021 年 5 月 1 日時点のものを記載している
自動車整備科、自動車整備・ボディリペア科、自動車整備・カスタマイズ科の 1・2 年次は同一授業のため全教員が兼任している

カリキュラム(授業方法及び内容、年間の授業計画)
(概要) ・学年の基準修業週は 45 週とし 1 週間の修業時限は原則として 20 時限とする。 ・1 時限は 80 分とし、1 教育単位時間 50 分とする。 ・1 年次：968 時間、2 年次：938 時間の専門教育を行う。 ・授業計画作成ガイドライン(※1)に基づき、専門科目全てのシラバスを作成し、年度初め迄に学校ホームページ及び学生端末(※2)に掲載し、学生及び外部に公開している。 ※1　https://wp.nissan-gakuen.ac.jp/kyoto/wp-content/uploads/2021/06/b96835d59f3a18e11ebd7a9b6065edf5.pdf ※2　学生所有のスマートフォン等のアプリ「Handbook」
成績評価の基準・方法
(概要) 　学習評価は教科ごとに試験を行い、合格すればその教科を履修したと認める。合否の判定は下記「判定基準」により行う。 〈判定基準〉 １）学科、実習共に期末試験得点を成績得点とします。 ２）学科、実習共に成績得点が 60 点以上を合格とします。 　　ただし、資格取得のための特定の教科においては、80 点以上を合格とします。 ３）成績得点を基に評定(優・良・可)、成績順位が決められます。 　　優：80 点以上、良：60 点以上、可：60 点未満とします。 ４）評定及び成績順位は、期末試験に合格し、教科規定の授業時間数を満たした場合に決められます。
卒業・進級の認定基準
(概要) 　進級・卒業認定方針に基づき、すべての専門教育科目の履修を確認したうえで、授業態度、出席状況等を鑑み、進級・卒業を認定する。(ディプロマポリシー) 　一種養成施設として国土交通省により定められた学科・実習の全教科を履修し、以下に記す知識と能力を培った者に文部科学大臣告示による専門士(工業専門課程)を授与する １．資格 ①　国家二級自動車整備士資格を取得できる知識と実践力を身に付け、整備士として基本的な自動車整備作業ができる ２．技術 ①　日産３級整備士資格を取得できる知識と技術を有している ②　日産資格制度の日産３級技術能力要件項目に沿った内容の作業ができ、CS マインドを身に付け、一連のお客様応対スキルを身に付けている ３．人間力 ①　自主性を基に学ぶ意欲、向上心を持ち、自ら課題に対し積極的に取り組む姿勢を身に付けている ②　チームの一員として共同作業のベースとなるコミュニケーション力を有している

③ 社会・地域に貢献し、法令・倫理の規範を遵守することができる
学修支援等
(概要) ・クラス担任による本人面談・三者面談、学修相談 ・教科担当による補習授業 ・学年統括による生活指導 ・専門カウンセラーによるカウンセリング ・学生動向の学年情報共有など

卒業者数、進学者数、就職者数(直近の年度の状況を記載)			
(2020 年度)			
卒業者数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
58 人 (100%)	0 人 (0.0%)	58 人 (100.0%)	0 人 (0.0%)
(主な就職、業界等) ・日産圏企業をはじめとした自動車開発・研究・製造メーカー ・日産販売会社をはじめとした自動車整備業界、など			
(就職指導内容) ・オリジナルテキストを用いたキャリア形成教育 ・外部講師によるキャリア育成教育 ・就職先採用担当者による就職ガイダンスなど			
(主な学修成果(資格・検定等)) ・国家 2 級自動車整備士(ガソリンエンジン、ジーゼルエンジン) ・日産 3 級テクニカルスタッフ(T/S)			
(備考)(任意記載事項)			

中途退学の現状(2020 年度)		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
104 人	3 人	2.8%
(中途退学の主な理由) 学力不振、経済的理由、進路変更		
(中退防止・中退者支援のための取組) ・クラス担任による定期的な個人面談 ・専門カウンセラーによるカウンセリングなど		

＜自動車整備・ボディリペア科＞

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士
工業		工業専門課程	自動車整備・ボディリペア科	○	
修業	昼夜	全課程の修了に必要な総	開設している授業の種類		

年限		授業時数又は総単位数	講義	演習	実習	実験	実技
3 年	昼	2,883 単位時間／単位	954 単位時間/単位	単位時間/単位	1,929 単位時間/単位	単位時間/単位	単位時間/単位
			2,883　単位時間／単位				

生徒総定員数	生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数
105 人	107 人	11 人	人	18 人	18 人

人数は 2021 年 5 月 1 日時点のものを記載している
自動車整備科、自動車整備・ボディリペア科、自動車整備・カスタマイズ科の 1 年次・2 年次の兼任 16 人、自動車整備・ボディリペア科、自動車整備・カスタマイズ科の 3 年次兼任 2 人

カリキュラム(授業方法及び内容、年間の授業計画)

(概要)
・学年の基準修業週は 45 週とし 1 週間の修業時限は原則として 20 時限とする。
・1 時限は 80 分とし、1 教育単位時間 50 分とする。
・1 年次：968 時間、2 年次：938 時間、3 年次 977 時間の専門教育を行う。

・授業計画作成ガイドライン(※1)に基づき、専門科目全てのシラバスを作成し、年度初め迄に学校ホームページ及び学生端末(※2)に掲載し、学生及び外部に公開している。

※1　https://wp.nissan-gakuen.ac.jp/kyoto/wp-content/uploads/2021/06/b96835d59f3a18e11ebd7a9b6065edf5.pdf
※2　学生所有のスマートフォン等のアプリ「Handbook」

成績評価の基準・方法

(概要)
学習評価は教科ごとに試験を行い、合格すればその教科を履修したと認める。合否の判定は下記「判定基準」により行う。

〈判定基準〉
１）学科、実習共に期末試験得点を成績得点とします。
２）学科、実習共に成績得点が 60 点以上を合格とします。
ただし、資格取得のための特定の教科においては、80 点以上を合格とします。
３）成績得点を基に評定（優・良・可）、成績順位が決められます。
優：80 点以上、良：60 点以上、可：60 点未満とします。
４）評定及び成績順位は、期末試験に合格し、教科規定の授業時間数を満たした場合に決められます。

卒業・進級の認定基準

(概要)
進級・卒業認定方針に基づき、すべての専門教育科目の履修を確認したうえで、授業態度、出席状況等を鑑み、進級・卒業を認定する。(ディプロマポリシー)

〈1・２年次〉
一種養成施設として国土交通省により定められた学科・実習の全教科を履修し、以下に記す知識と能力を培った者に修了証書を授与する

１．資格
① 国家二級自動車整備士資格を取得できる知識と実践力を身に付け、整備士として基本的な自動車整備作業ができる
２．技術
① 日産３級整備士資格を取得できる知識と技術を有している
② 日産資格制度の日産３級技術能力要件項目に沿った内容の作業ができ、CS マインドを身に付け、一連のお客様応対スキルを身に付けている
３．人間力
① 自主性を基に学ぶ意欲、向上心を持ち、自ら課題に対し積極的に取り組む姿勢を身に付けている
② チームの一員として共同作業のベースとなるコミュニケーション力を有している
③ 社会・地域に貢献し、法令・倫理の規範を遵守することができる

〈3 年次〉
一種養成施設として国土交通省により定められた学科・実習の全教科を履修し、以下に記す知識と能力を培った者に卒業証書を授与する
１．資格
① 国家車体整備士資格を取得できる知識と実践力を身に付け、車体整備士として基本的な自動車板金塗装作業ができる
２．技術
① 日産サービス技術習得制度の日産３級車体士、塗装士資格を取得できる知識と技術を有している
② 日産サービス技術習得制度の日産１級、２級の車体士、塗装士の知識を備え、尚且つ、日産サービス技術習得制度の日産３級車体士、塗装士の技術能力要件項目に沿った内容の作業ができる。
３．人間力
① 主体性を基に学ぶ意欲、向上心を持ち、自ら課題に対し積極的に行動できる
② チームの一員としてコミュニケーションを取りながら、協調と協力して共同作業ができる
③ 社会・地域に貢献し、法令・倫理の規範を遵守することができる

学修支援等

(概要)
・クラス担任による本人面談・三者面談、学修相談
・教科担当による補習授業
・学年統括による生活指導
・専門カウンセラーによるカウンセリング
・学生動向の学年情報共有など

卒業者数、進学者数、就職者数(直近の年度の状況を記載)

(2020 年度)

卒業者数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
36 人 (100%)	0 人 (0.0%)	36 人 (100.0%)	0 人 (0.0%)

(主な就職、業界等)

・日産圏企業をはじめとした自動車開発・研究・製造メーカー ・日産販売会社をはじめとした自動車整備業界、など
(就職指導内容) ・オリジナルテキストを用いたキャリア形成教育 ・外部講師によるキャリア育成教育 ・就職先採用担当者による就職ガイダンスなど
(主な学修成果(資格・検定等)) ・国家 2 級自動車整備士 （ガソリンエンジン、ジーゼルエンジン） ・国家車体整備士 ・日産 3 級テクニカルスタッフ(T/S)、日産 3 級塗装士、日産 3 級車体整備士
(備考)(任意記載事項)

中途退学の現状(2020 年度)		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
107 人	3 人	2.8%
(中途退学の主な理由) 学力不振、進路変更		
(中退防止・中退者支援のための取組) ・クラス担任による定期的な個人面談 ・専門カウンセラーによるカウンセリングなど		

＜自動車整備・カスタマイズ科＞

分野		課程名	学科名		専門士		高度専門士
工業		工業専門課程	自動車整備・カスタマイズ科				○
修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な総授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
4 年	昼	3,935 単位時間／単位	1,007 単位時間/単位	単位時間/単位	2,928 単位時間/単位	単位時間/単位	単位時間/単位
			3,935 単位時間／単位				

生徒総定員数	生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数
80 人	67 人	1 人	1 人	19 人	20 人

人数は 2021 年 5 月 1 日時点のものを記載している
自動車整備科、自動車整備・ボディリペア科、自動車整備・カスタマイズ科の 1 年次・2 年次の兼任 18 人、自動車整備・ボディリペア科、自動車整備・カスタマイズ科の 3 年次兼任 2 人

カリキュラム(授業方法及び内容、年間の授業計画)
(概要) ・学年の基準修業週は 45 週とし 1 週間の修業時限は原則として 20 時限とする。 ・1 時限は 80 分とし、1 教育単位時間 50 分とする。 ・1 年次：968 時間、2 年次：938 時間、3 年次 977 時間、4 年次 1,052 時間の専門教

育を行う。

・授業計画作成ガイドライン(※1)に基づき、専門科目全てのシラバスを作成し、年度初め迄に学校ホームページ及び学生端末(※2)に掲載し、学生及び外部に公開している。

※1 https://wp.nissan-gakuen.ac.jp/kyoto/wp-content/uploads/2021/06/b96835d59f3a18e11ebd7a9b6065edf5.pdf
※2 学生所有のスマートフォン等のアプリ「Handbook」

成績評価の基準・方法

(概要)
学習評価は教科ごとに試験を行い、合格すればその教科を履修したと認める。合否の判定は下記「判定基準」により行う。

〈判定基準〉
１）学科、実習共に期末試験得点を成績得点とします。
２）学科、実習共に成績得点が 60 点以上を合格とします。
ただし、資格取得のための特定の教科においては、80 点以上を合格とします。
３）成績得点を基に評定（優・良・可）、成績順位が決められます。
優：80 点以上、良：60 点以上、可：60 点未満とします。
４）評定及び成績順位は、期末試験に合格し、教科規定の授業時間数を満たした場合に決められます。
ただし、4 年次は授業時間数の 80%以上を満たした場合とします。

卒業・進級の認定基準

(概要)
進級・卒業認定方針に基づき、すべての専門教育科目の履修を確認したうえで、授業態度、出席状況等を鑑み、進級・卒業を認定する。(ディプロマポリシー)

〈1・2 年次〉
一種養成施設として国土交通省により定められた学科・実習の全教科を履修し、以下に記す知識と能力を培った者に修了証書を授与する
１．資格
① 国家二級自動車整備士資格を取得できる知識と実践力を身に付け、整備士として基本的な自動車整備作業ができる
２．技術
① 日産３級整備士資格を取得できる知識と技術を有している
② 日産資格制度の日産３級技術能力要件項目に沿った内容の作業ができ、CS マインドを身に付け、一連のお客様応対スキルを身に付けている
３．人間力
① 自主性を基に学ぶ意欲、向上心を持ち、自ら課題に対し積極的に取り組む姿勢を身に付けている
② チームの一員として共同作業のベースとなるコミュニケーション力を有している
③ 社会・地域に貢献し、法令・倫理の規範を遵守することができる

〈3 年次〉
　一種養成施設として国土交通省により定められた学科・実習の全教科を履修し、以下に記す知識と能力を培った者に修了証書を授与する
１．資格
① 国家車体整備士資格を取得できる知識と実践力を身に付け、車体整備士として基本的な自動車板金塗装作業ができる
２．技術
① 日産サービス技術習得制度の日産３級車体士、塗装士資格を取得できる知識と技術を有している
② 日産サービス技術習得制度の日産１級、２級の車体士、塗装士の知識を備え、尚且つ、日産サービス技術習得制度の日産３級車体士、塗装士の技術能力要件項目に沿った内容の作業ができる。
３．人間力
① 主体性を基に学ぶ意欲、向上心を持ち、自ら課題に対し積極的に行動できる
② チームの一員としてコミュニケーションを取りながら、協調と協力して共同作業ができる
③ 社会・地域に貢献し、法令・倫理の規範を遵守することができる

〈4 年次〉
　カスタムカー製作のノウハウを習得し、その製作プロセスから主体性を基本とした積極性やリーダーシップを培った者に卒業証書を授与する
１．資格
① 国家２級金属塗装士資格を取得できる知識と実践力を身に付け、車体整備士として高度な知識と技術を有している
２．技術
① 豊かな創造力でカスタムカーをデザインすることができる
② 車体整備の知識と技術によって、カスタムカーのデザインから製作までを計画的に行うことができる
③ 対外的な交渉を行うためのプレゼンテーションと折衝のスキルを身につけている
３．人間力
① 主体性を基に自ら学ぶ意欲及び探究心を持って学習し、自ら目標を掲げて行動できる
② 組織の中で自分の役割を理解し、主体的に課題を解決する行動力をに身に付けている
③ 相手の気持ちや考えを理解するコミュニケーション力を持ち、チーム全体をリードしていく意思がある
④ 積極的に社会・地域に貢献し、法令・倫理の規範を遵守することができる

学修支援等

(概要)
・クラス担任による本人面談・三者面談、学修相談
・教科担当による補習授業
・学年統括による生活指導
・専門カウンセラーによるカウンセリング
・学生動向の学年情報共有など

卒業者数、進学者数、就職者数(直近の年度の状況を記載)

(2020 年度)

卒業者数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
10 人 （100%）	0 人 （0.0%）	10 人 （100%）	0 人 （0.0%）

(主な就職、業界等)
・日産圏企業をはじめとした自動車開発・研究・製造メーカー
・日産販売会社をはじめとした自動車整備業界、など

(就職指導内容)
・オリジナルテキストを用いたキャリア形成教育
・外部講師によるキャリア育成教育
・就職先採用担当者による就職ガイダンスなど

(主な学修成果(資格・検定等))
・国家 2 級自動車整備士（ガソリンエンジン、ジーゼルエンジン）
・国家車体整備士
・日産 3 級テクニカルスタッフ(T/S)、日産 3 級塗装士、日産 3 級車体整備士
・国家金属塗装士

(備考)(任意記載事項)

中途退学の現状(2020 年度)		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
67 人	5 人	7.4%

(中途退学の主な理由)
学力不振、経済的理由、進路変更

(中退防止・中退者支援のための取組)
・クラス担任による定期的な個人面談
・専門カウンセラーによるカウンセリングなど

＜一級自動車工学科＞

分野	課程名	学科名	専門士	高度専門士
工業	工業専門課程	一級自動車工学科		○

修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な総授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
4 年	昼	4,080 単位時間／単位	1,279 単位時間/単位	単位時間/単位	2,801 単位時間/単位	単位時間/単位	単位時間/単位
			4,080 単位時間／単位				

生徒総定員数	生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数
310 人	260 人	11 人	8 人	16 人	24 人

人数は 2021 年 5 月 1 日時点のものを記載している
自動車整備科、自動車整備・ボディリペア科、自動車整備・カスタマイズ科、一級自動車工学科の 1・2 年次は同一授業のため全教員が兼任している

カリキュラム(授業方法及び内容、年間の授業計画)
(概要) ・学年の基準修業週は 45 週とし 1 週間の修業時限は原則として 20 時限とする。 ・1 時限は 80 分とし、1 教育単位時間 50 分とする。 ・1 年次：968 時間、2 年次：938 時間、、3 年次 1,041 時間、4 年次 1,133 時間の専門教育を行う。 ・授業計画作成ガイドライン(※1)に基づき、専門科目全てのシラバスを作成し、年度初め迄に学校ホームページ及び学生端末(※2)に掲載し、学生及び外部に公開している。 ※1　https://wp.nissan-gakuen.ac.jp/kyoto/wp-content/uploads/2021/06/b96835d59f3a18e11ebd7a9b6065edf5.pdf ※2　学生所有のスマートフォン等のアプリ「Handbook」
成績評価の基準・方法
(概要) 　学習評価は教科ごとに試験を行い、合格すればその教科を履修したと認める。合否の判定は下記「判定基準」により行う。 〈判定基準〉 １）学科、実習共に期末試験得点を成績得点とします。 ２）学科、実習共に成績得点が 70 点以上を合格とします。 　　ただし、資格取得のための特定の教科においては、80 点以上を合格とします。 ３）成績得点を基に評定（優・良・可）、成績順位が決められます。 　　優：80 点以上、良：70 点以上、可：70 点未満とします。 ４）評定及び成績順位は、期末試験に合格し、教科規定の授業時間数を満たした場合に決められます。
卒業・進級の認定基準
(概要) 　進級・卒業認定方針に基づき、すべての専門教育科目の履修を確認したうえで、授業態度、出席状況等を鑑み、進級・卒業を認定する。(ディプロマポリシー) 〈1・2 年次〉 　一種養成施設として国土交通省により定められた学科・実習の全教科を履修し、以下に記す知識と能力を培った者に修了証書を授与する １．資格 ①　国家二級自動車整備士資格を取得できる知識と実践力を身に付け、整備士として基本的な自動車整備作業ができる ２．技術 ①　日産３級整備士資格を取得できる知識と技術を有している ②　日産資格制度の日産３級技術能力要件項目に沿った内容の作業ができ、CS マインドを身に付け、一連のお客様応対スキルを身に付けている ３．人間力 ①　自主性を基に学ぶ意欲、向上心を持ち、自ら課題に対し積極的に取り組む姿勢を身に付け

ている
② チームの一員として共同作業のベースとなるコミュニケーション力を有している
③ 社会・地域に貢献し、法令・倫理の規範を遵守することができる

〈3・4 年次〉
一種養成施設として国土交通省により定められた学科・実習の全教科を履修し、以下に記す知識と能力を培った者に文部科学大臣告示による高度専門士(工業専門課程)を授与する
１．資格
① 国家一級自動車整備士資格を取得できる知識と実践力を身に付け、自動車エンジニアとして高度で総合的な知見を有している
２．技術
① 日産２級整備士資格の学科試験に合格できる知識を有している
② 日産資格制度の日産２級技術能力要件項目に沿った内容の作業ができ、 CS マインドを身に付け、一連のお客様応対スキルにより、お客様満足を優先する対応ができる
③ 企業経営に関する知識を身に付け、業務効率の重要性を理解している
３．人間力
① 主体性を基に自ら学ぶ意欲及び探究心を持って学習し、自ら目標を掲げて行動できる
② 組織の中で自分の役割を理解し、主体的に課題を解決する行動力をに身に付けている
③ 相手の気持ちや考えを理解するコミュニケーション力を持ち、チーム全体をリードしていく意思を有している
④ 積極的に社会・地域に貢献し、法令・倫理の規範を遵守することができる

学修支援等

(概要)
・クラス担任による本人面談・三者面談、学修相談
・教科担当による補習授業
・学年統括による生活指導
・専門カウンセラーによるカウンセリング
・学生動向の学年情報共有など

卒業者数、進学者数、就職者数(直近の年度の状況を記載)

(2020 年度)

卒業者数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
57 人 （100%）	0 人 （0.0%）	57 人 （100.0%）	0 人 （0.0%）

(主な就職、業界等)
・日産圏企業をはじめとした自動車開発・研究・製造メーカー
・日産販売会社をはじめとした自動車整備業界、など

(就職指導内容)
・オリジナルテキストを用いたキャリア形成教育
・外部講師によるキャリア育成教育
・就職先採用担当者による就職ガイダンスなど

(主な学修成果(資格・検定等))
・国家２級自動車整備士 （ガソリンエンジン、ジーゼルエンジン）

・国家 1 級小型自動車整備士 ・日産 3 級テクニカルスタッフ(T/S)、日産 2 級テクニカルスタッフ(T/S) ・日産 3 級テクニカルアドバイザー(T/A)
(備考)(任意記載事項)

中途退学の現状(2020 年度)		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
260 人	8 人	1.9%
(中途退学の主な理由) 学力不振、経済的理由、進路変更		
(中退防止・中退者支援のための取組) ・クラス担任による定期的な個人面談 ・専門カウンセラーによるカウンセリングなど		

②学校単位の情報

ａ)「生徒納付金」等

学科名	学年	入学金	授業料(年間)	その他	備考(任意記載事項)
自動車整備科 自動車整備・ボディリペア科 自動車整備・カスタマイズ科 一級自動車工学科	1 年次	240,000 円	642,000 円	591,000 円	入学検定料 25,000 円 施設設備費 230,000 円 実験実習費 130,000 円 学生諸費用預り金 206,000 円
	2 年次	－	642,000 円	484,000 円	施設設備費 230,000 円 実験実習費 130,000 円 学生諸費用預り金 124,000 円
自動車整備・ボディリペア科 自動車整備・カスタマイズ科	3 年次	－	642,000 円	616,000 円	施設設備費 230,000 円 実験実習費 170,000 円 学生諸費用預り金 216,000 円
自動車整備・カスタマイズ科	4 年次	－	642,000 円	646,000 円	施設設備費 230,000 円 実験実習費 170,000 円 学生諸費用預り金 246,000 円
一級自動車工学科	3 年次	－	642,000 円	630,000 円	施設設備費 230,000 円 実験実習費 220,000 円 学生諸費用預り金 180,000 円
	4 年次	－	642,000 円	574,000 円	施設設備費 230,000 円 実験実習費 220,000 円 学生諸費用預り金 124,000 円

修学支援(任意記載事項)
① 選抜奨学金 特待生奨学金　：1 年次授業料　250,000 円免除 遠隔地奨学金　：1 年次授業料　250,000 円免除 ② 特別奨学金 女子奨学金　：1 年次授業料　50,000 円免除 留学生特別奨学金　：1 年次授業料　250,000 円免除 ③企業奨学金 日産販売会社奨学金　：各販売会社が独自の奨学金を支給 リアライズ奨学金　：2 年間学費　1,000,000 円支給
③

b)学校評価

自己評価結果の公表方法		
(ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) ホームページにて公開 https://wp.nissan-gakuen.ac.jp/kyoto/wp-content/uploads/2021/06/de1dac4d2032d0e7f5b3a71fa77792eb.pdf		
学校関係者評価の基本方針(実施方法・体制)		
実践的かつ専門的な職業教育を実施するにあたり、学校関係者による学校評価を実施し、学校運営の継続的改善を図ることを目的に、地元有識者、企業等委員、卒業生からなる「学校関係者評価委員会」を設ける。		
学校関係者評価の委員		
所属	任期	種別
（一社）京都自動車整備振興会 専務理事	令和 3 年 4 月 1 日～ 令和 5 年 3 月 31 日（2 年）	団体代表
京都府自動車車体整備協同組合 事務局長	令和 2 年 4 月 1 日～ 令和 4 年 3 月 31 日（2 年）	団体代表
株式会社京都日産　執行役員	令和 3 年 4 月 1 日～ 令和 5 年 3 月 31 日（2 年）	企業代表
株式会社近畿日産　監査支援部部長	令和 3 年 4 月 1 日～ 令和 5 年 3 月 31 日（2 年）	企業代表
日産大阪販売株式会社　BP 事業部部長	令和 2 年 4 月 1 日～ 令和 4 年 3 月 31 日（2 年）	企業代表
京都府立田辺高等学校　自動車科学科長	令和 3 年 4 月 1 日～ 令和 5 年 3 月 31 日（2 年）	高校代表
和自動車販売株式会社　会長	令和 3 年 4 月 1 日～ 令和 5 年 3 月 31 日（2 年）	卒業生代表
日産サービスセンター株式会社　阪神支社 総務部総務課　課長	令和 2 年 4 月 1 日～ 令和 4 年 3 月 31 日（2 年）	卒業生代表
学校関係者評価結果の公表方法		
(ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) ホームページにて公開		

https://wp.nissan-gakuen.ac.jp/kyoto/wp-content/uploads/2021/06/e73c684571d1244e84ab082c1f3cf285.pdf
第三者による学校評価(任意記載事項)

c)当該学校に係る情報

(ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) ホームページにて公開 学校ホームページのトップページ https://www.nissan-gakuen.ac.jp/kyoto/ 情報公開のトップページ https://www.nissan-gakuen.ac.jp/kyoto/infomation.html

（別紙）

※この別紙は、更新確認申請の場合に提出すること。

※以下に掲げる人数を記載すべき全ての欄について、該当する人数が 1 人以上 10 人以下の場合には、当該欄に「－」を記載すること。該当する人数が 0 人の場合には、「0 人」と記載すること。

学校名	専門学校　日産京都自動車大学校
設置者名	学校法人　日産学園

１．前年度の授業料等減免対象者及び給付奨学生の数

		前半期	後半期	年間
支援対象者（家計急変による者を除く）		77 人	76 人	-人
内訳	第Ⅰ区分	48 人	48 人	
	第Ⅱ区分	-人	-人	
	第Ⅲ区分	-人	-人	
家計急変による支援対象者（年間）				-人
合計（年間）				77 人
（備考）				

※本表において、第Ⅰ区分、第Ⅱ区分、第Ⅲ区分とは、それぞれ大学等における修学の支援に関する法律施行令（令和元年政令第４９号）第２条第１項第１号、第２号、第３号に掲げる区分をいう。

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

２．前年度に授業料等減免対象者としての認定の取消しを受けた者及び給付奨学生認定の取消しを受けた者の数

（１）偽りその他不正の手段により授業料等減免又は学資支給金の支給を受けたことにより認定の取消しを受けた者の数

年間	0 人

（２）適格認定における学業成績の判定の結果、学業成績が廃止の区分に該当したことにより認定の取消しを受けた者の数

	右以外の大学等	短期大学（修業年限が２年のものに限り、認定専攻科を含む。）、高等専門学校（認定専攻科を含む。）及び専門学校（修業年限が２年以下のものに限る。）	
	年間	前半期	後半期
修業年限で卒業又は修了できないことが確定	０人	０人	０人
修得単位数が標準単位数の５割以下（単位制によらない専門学校にあっては、履修科目の単位時間数が標準時間数の５割以下）	０人	０人	０人
出席率が５割以下その他学修意欲が著しく低い状況	０人	０人	０人
「警告」の区分に連続して該当	０人	０人	０人
計	０人	０人	０人
（備考）			

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

上記の（２）のうち、学業成績が著しく不良であると認められる者であって、当該学業成績が著しく不良であることについて災害、傷病その他やむを得ない事由があると認められず、遡って認定の効力を失った者の数

右以外の大学等		短期大学（修業年限が２年のものに限り、認定専攻科を含む。）、高等専門学校（認定専攻科を含む。）及び専門学校（修業年限が２年以下のものに限る。）			
年間	０人	前半期	０人	後半期	０人

（３）退学又は停学（期間の定めのないもの又は３月以上の期間のものに限る。）の処分を受けたことにより認定の取消しを受けた者の数

退学	０人
３月以上の停学	０人
年間計	０人
（備考）	

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

３．前年度に授業料等減免対象者としての認定の効力の停止を受けた者及び給付奨学生認定の効力の停止を受けた者の数

停学（３月未満の期間のものに限る。）又は訓告の処分を受けたことにより認定の効力の停止を受けた者の数

３月未満の停学	０人
訓告	０人
年間計	０人
（備考）	

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

４．適格認定における学業成績の判定の結果、警告を受けた者の数

	右以外の大学等	短期大学（修業年限が２年のものに限り、認定専攻科を含む。）、高等専門学校（認定専攻科を含む。）及び専門学校（修業年限が２年以下のものに限る。）	
	年間	前半期	後半期
修得単位数が標準単位数の６割以下（単位制によらない専門学校にあっては、履修科目の単位時間数が標準時間数の６割以下）	０人	０人	０人
ＧＰＡ等が下位４分の１	－人	－人	０人
出席率が８割以下その他学修意欲が低い状況	０人	０人	０人
計	－人	－人	０人
（備考）			

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

備考 この用紙の大きさは，日本産業規格Ａ４とする。